

Calendar

休館日
 コレクション展ガイドツアー

*詳しい日程・内容についてはお問い合わせください。
 *予告なく変更になる場合があります。
 *最新情報は随時SNSでお知らせします。

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

▲せつこっくクラブ(4/29)

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

▲せつこっくクラブ(未定)

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

▲特別展「貝殻旅行」(2/19~)
 ※2/19は正午から一般公開

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

▲せつこっくクラブ(5/5)

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

▲企画展「おばけのマル展」(7/10~)
 ▲こどもミュージアム 2021(7/17~)

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

▲特別展「石本正展」(9/11~)
 ※9/11は正午から一般公開

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

■教育普及プログラムのご紹介

□コレクション展ガイドツアー

特別展・企画展会期中をのぞく毎月第2・第4木曜日午後2時から、
 学芸員がコレクション展(常設展)の解説を行います。
 (参加無料(要観覧券)、事前申込不要)

□せつこっくクラブ

こども向けのワークショップや近隣美術館等への
 バスツアーなどを行います。

□美術の学校

アーティストや美術史の専門家などを講師に
 招き、ワークショップ形式や講義形式の美術
 教室を開催します。



一宮市三岸節子記念美術館
公式キャラクター セつちゃん

■ご利用案内

□開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)

□観覧料 コレクション展(常設展)

一般320円 高大生210円 中学生以下無料

特別展・企画展 その都度定めます。チラシ等をご覧ください。

※20名以上の団体は2割引

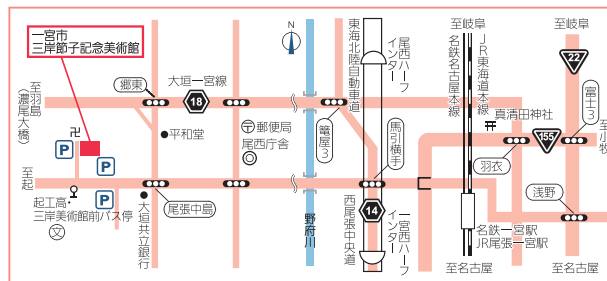
※一宮市内在住の満65歳以上で住所・年齢を確認できる
 公的機関発行の証明書等を提示された方、身体障害者手帳・
 戦傷病者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳を持参の方
 (付添人1人を含む)は無料

常設展示年間観覧券(コレクション展年間パスポート)

一般640円 高大生420円

コレクション展(常設展)にかぎり、何度でもご覧いただく
 ことができます。(発行日から1年有効)

□交通案内 公共交通機関 JR尾張一宮駅・名鉄一宮駅下車、名鉄
 バスターミナル②番のりば「起(おこし)」行で約15分、
 「起工高・三岸美術館前」バス停下車、徒歩1分



自動車利用

大阪方面▷名神高速道路 岐阜羽島ICより約15分
 東京方面▷名神高速道路經由 東海北陸自動車道
 一宮西ICより約10分

北陸方面▷東海北陸自動車道尾西ICより約10分
 *無料駐車場完備(42台)

一宮市三岸節子記念美術館
<http://s-migishi.com>

〒494-0007 愛知県一宮市小信中島字郷南3147-1
 TEL 0586-63-2892 / FAX 0586-63-2893

@s.migishi.museum @s.migishi.museum @s_migishi_muse

ICHINOMIYA CITY MEMORIAL ART MUSEUM OF SETSUKO MIGISHI



三岸節子《静物》1943年©MIGISHI

MUSEUM CALENDAR

2021.4-2022.3

一宮市三岸節子記念美術館
<http://s-migishi.com>



7月10日(土) ▶ 9月1日(水)

企画展／「いちのみや市100周年」関連事業

さっぽろからやってきた!

『おぼけのマール』絵本原画展

『おぼけのマール』シリーズは三岸節子の夫・三岸好太郎の故郷札幌を舞台に、さまざまなおぼけが繰り広げられる“ご当地絵本”。マールは札幌の子どもたちに愛され続け、シリーズは2020年で15周年を迎え10作が出版されています。本展では、マールがはじめて北海道を飛び出して一宮へやって来た新作絵本の原画を初公開。本州では知る人ぞ知る名作絵本『マール』の魅力を届けます。

関連行事／ワークショップ、読み聞かせ、コンサート、ギャラリートークなど

9月11日(土) ▶ 10月24日(日)

特別展／「いちのみや市100周年」関連事業

生誕100年 回顧展

石本 正

1920年、現在の島根県浜田市に生まれた日本画家・石本正。2020年の生誕100年を記念し、門外不出とされてきた作品が初めて全国巡回します。本展では、石本の青年時代から最晩年までの画業の全貌を、代表作で辿ります。さらに絶筆となった「舞妓」や新たに見つかった膨大なスケッチブック、素描を展示し、最新の瞬間まで絵画一筋に生きた石本の生涯と創作の原点を紹介します。

関連行事／講演会、ワークショップ、ギャラリートークなど
※9/11は正午から一般公開
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本展覧会は2020年から本年に延期して開催するものです。



石本正「のれん」1970年 個人蔵

2月19日(土) ▶ 4月10日(日)

特別展／「いちのみや市100周年」関連事業

貝殻旅行—三岸好太郎・節子展—

日本洋画壇を代表する画家夫婦、三岸好太郎と節子。1922年の二人の出会いから1924年の結婚、1934年の「貝殻旅行」と称した二人きりの旅と、直後の好太郎の死。二人が出会ってから100年となることを記念し、死別後の節子の奮闘の軌跡も辿りながら、二人が築いた鮮烈なる絵画世界を旅になぞらえて紹介します。

関連行事／講演会、ワークショップ、ギャラリートークなど
※2/19は正午から一般公開



三岸節子「さいたさいたさくらがさいた」1998年 ©MIGISHI



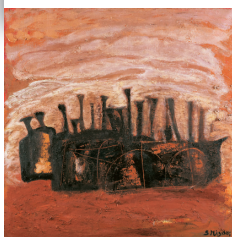
三岸好太郎「のんびり貝」1934年 北海道立三岸好太郎美術館蔵

4月13日(火) ▶ 7月4日(日)

静物へのまなざし

画業前半は静物画家として、渡欧を経た画業後半は風景画家として、二度の絶頂期を迎えた三岸節子。最晩年に帰国してからは、そのまなざしを再び静物へと向けました。身近なモチーフに愛情を注いだ、節子の静物画を中心に紹介します。

【特集展示】心象の画家 三岸好太郎



三岸節子「作品Ⅲ」1991年 ©MIGISHI



三岸好太郎「静物」1991年頃 ©MIGISHI

7月10日(土) ▶ 10月31日(日)

色彩画家のヨーロッパ紀行

ヨーロッパ滞在を経て、三岸節子が描き出した異国の風景画。そこには、訪れた各地の表情が華やかに、時には単色で表現されています。節子の足跡をたどりながら、その先々で画家の目が捉えた色彩豊かな風景を紹介します。



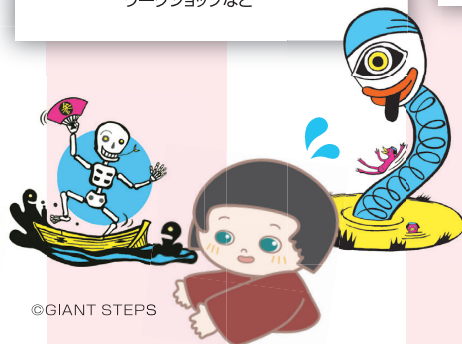
三岸節子「小さな町 (アンダルシア)」1987年 ©MIGISHI

7月17日(土) ▶ 9月1日(水)

こどもミュージアム2021
せっちゃんのおばけツアーズ
～Setsuko Meets the Ghost～

せっちゃんと一緒に、美術館に“出る”とウワサのおばけをおそろおそろ探しに行こう!

関連行事／スタンブラリー、ペーパークラフト、ワークショップなど



©GIANT STEPS

11月2日(火) ▶ 2月13日(日)

花の饗宴

節子作品の代表的モチーフ“花”。あるときは抽象的に、あるときは色彩豊かに咲き誇る花々を描きました。生涯自信のもてる一枚の花を描きたいと願い、制作し続けた花の絵を中心に、その画業を紹介します。



三岸節子「花」1950年代 ©MIGISHI

2月19日(土) ▶ 4月10日(日)

素描画の魅力

旺盛な制作意欲から、常に傍らにスケッチブックを置き、気に入った対象があればすぐに素描に取り掛かっていた三岸節子。借用作品を含むクレパス、水彩画、デッサン等を展覧し、節子の素描の魅力に迫ります。



三岸節子「ニールスのブロムナデーサングレ」1980年 ©MIGISHI